

主義こそ科学的という考えが強く、「全ての人間に共通する行動法則を解明することが心理学の目的である」という普遍主義に支配された方法論がとられてきた。「客観的」とはどういうことかを深く問うことなく、研究対象のさまざまな側面を測定することにエネルギーを傾注し、数値で表示されたものを統計的に処理すれば科学性が担保されるかのごとき錯覚が蔓延している。しかし、こうして得られた「客観的事実（データ）」は、一連の知的操作を通して「再構成された事実（reality remade）」である。解釈的アプローチは、「事象や対象を測定すること」のなかで埋没し見失われた、「対象を理解する」という了解的スタンスでデータを見ていく」（箕浦 1999 p 16）。

社会学の領域においても同様の問題が存在しており、Blumer は「人間集団を変数と変数関係に還元してしまおうとする社会学的分析の図式」に対して次のように批判している。第一に、集団に対して作用していると仮定された一定のものを特定化した独立変数と、集団の何らかの活動を表す従属変数との間に存在すべき媒介の過程が無視されるかあるいは配慮する必要がない所与のものとみなされる誤りである。第二に、現実の社会は複雑で内部で運動している複合体にも係らず、変数間の関係を特定化する作業の要請から、離散的で明確で一次元的な変数のみを扱う点である（Blumer 1969 邦

訳 pp 171-181）。

Blumer のこの洞察は、安全に関する文化を課題とする数多くの既存の研究に当てはまるものであり、本研究で採用しているエスノグラフィーはこれらの欠点を克服する一つの解決策であると考えられる。

しかし、我が国では、労働現場を扱ったフィールドワークは極めて少ないとされている。それは、そもそも日本において調査方法としてのフィールドワークに対する社会的認識が低く、科学的調査法としての位置づけが曖昧だからである（佐藤 2002b）。エスノグラフィーが非科学的であるとの根強い批判の根拠となりうる論拠を提示すると、おおよそ次の三つがあると考えられる。

①エスノグラフィーを作成するに至る長い研究過程における諸活動—リサーチクエスションの設定と修正追加、インフォーマントとの係わり方、観察対象の選定とフィールドノートに書き留める出来事を選択、フィールドノートにおける表現の仕方、分析におけるコードの選択、意味の解釈、最終段階の執筆—は、エスノグラファー自身の知的見解と個人的経歴に依存する部分が多い。

②データに向かい合う姿勢が実証主義的な研究と異なる。すなわち、研究者が研究対象を接するスタンスか、実証主義的アプローチにおいては、研究対象との間に距離を置いて相手を見ようとしてい

るのに対して、解釈的アプローチでは、研究対象のいるセッティングに身を置き、相手に共感しながら対象を文脈もろとも理解することに努める（箕浦 1999 p 16-18）。このため、エスノグラファーは必然的にインフォーマントと社会的相互作用を行う過程においてデータを収集することになり、データの客観性が失われる恐れがある。

③実証主義アプローチの立場を採って行われる研究とりわけ量的研究において多く用いられる仮説検証型研究は、仮説の提示、方法の選定、データの収集、仮説の検証の順に行われるものが多い。これに対し、エスノグラフィーは仮説生成型研究であり、データの収集とデータの分析が同時進行するプロセスをとる。これが仮説検証型研究と決定的に異なる点である（佐藤 2002b、箕浦 1999 pp 6-8）。

しかし、これらはエスノグラフィーの特徴であり、特に②と③はエスノグラフィーの持つ強みでもある。研究手法を実証主義と解釈主義の二つのアプローチに二分化し二つを対立させる扱い方はいささか不適切であり、二種類のアプローチそれぞれが有している特徴に対して優劣を決めるのは無意味なことである。むしろ選択した手法が研究者の取り組んでいる課題の性質に適したものでなければならぬ点が重要である。本研究のように、建設作業員のイハンの意味空間を明らか

にしようとする研究すなわち地表に露出している部分ではなく地中に埋没されているものを発掘するための研究において、エスノグラフィーが適していると考えられる。

エスノグラフィーは時間と労力が掛かる研究であるが、研究対象の実態を深く掘り下げる点において優れており、エスノグラフィーという方法論に基づいて実施された本研究では、従来の調査手法からは見過ごされていた若しくは充分に取り上げられてこなかった観点を体系的に提示することができ、このような災害原因調査手法の有効性を証明している。したがって、以下のようなエスノグラフィー研究の実施について提言を行う。

①現場の職員 本研究で作業員との相互作用において職員をインフォーマントとしたが、これはもっぱら職員に焦点を当てた研究である。

②会社の上層部 元請と下請の会社経営層の経営方針における安全管理に対する認識を明らかにするための研究である。

③発注者 建設現場の生産活動は、工期やコストにおいて発注者の影響を強く受けている。本研究において職員の証言から発注者の安全に対する認識を上げているか、これは直接発注者に密着した研究である。

④主管官庁 主管官庁としての厚生労働省が法律の改正や安全基準の改定を行

うさいの認識や意思決定のプロセス、監督官が事業場に出向いてイハンを摘発するときの行動様式などに関する研究である。

⑤他職種 本研究において型枠大工ととび職の作業員の安全帯の不使用、垂直方向での移動におけるイハン行為、脚立の使用におけるイハン行為や吊荷作業におけるイハン行為などの四種類のイハン行為に焦点を当てて観察を行ったが、これは異なる職種のイハン行為に対する研究である。

⑥他の現場 本研究のフィールドとなった二つの現場は、安全管理レベルが産業全体の平均若しくは平均以上であると考えられる。これは安全管理レベルが産業の平均若しくは平均以下と思われる現場に対する研究である。

⑦他産業 他産業例えば製造業の主に体力労働に従事する労働者に着目する研究である。特に、物理的環境、雇用システム、給料の支給方式などにおいて建設業と異なると思われるか、その違いを明らかにするための比較研究も有益であると考えられる。

⑧諸外国 社会の安全に関する基本的な認識、建設生産システムや職人の社会的地位、安全管理システム、雇用システム、給料の支給方式などを検討しつつ、外国における建設労働者の安全に対する認識について調査研究を行い、比較研究を実施する。

また、個人の長期間にわたる意識の変化を捉えるため、バイオグラフィー (Biography) 研究の実施も有益な試みであると考えられる。

## 5 結論

本報告書は、厚生労働科学研究費補助金労働安全衛生総合研究事業の二年目の研究成果をまとめたものである。今年度においては、前年度のフィールドワークに続いて、追加調査を行い、追加調査の結果をも取り入れた分析を行った。さらに、災害原因の的確な特定のため、建設作業員の文化的主体性を重視した本研究の調査手法の活用を提案した。今年度における主な研究成果は、下記のとおりである。

①前年度のフィールドワークと今年度の追加調査からのデータに基づいて、建設作業員のイハンにまつわる文化的意味を描き出し、今まで十分に重視されてこなかった労働災害の潜在的・背景的原因を体系的に明らかにした。この研究結果は、今後の我が国の労働安全衛生管理および行政指導のあり方について有益な示唆を与えていると考えられる。

②他の調査研究手法との比較を行い、労働災害の潜在的・背景的原因を明らかにするため、エスノグラフィーの方法論を用いることの有効性について論述した。

③今後の災害原因調査に対して、建設

作業員のみならず、建設労働安全管理に係わる様々な主体を研究対象とするエスノグラフィーおよびハイオグラフィー的な研究を行うことを提言した。

## 参考文献

- 安藤清志・大坊郁夫・池田謙一 1995 社会心理学—現代心理学入門 4 岩波書店
- 安西愈 1993 建設安全管理の元方責任と事業者責任 労働基準調査会
- Aronson, E 1992, *The social animal* (Sixth edition) New York W H Freeman and Company 古畑和孝監訳
- 1994 ザ・ソーシャル・アニマル (第6版) 一人間行動の社会心理学的研究 サイエンス社
- Blumer, H 1969, *Symbolic interaction Perspective and Method* Englewood Cliffs, N J Prentice-Hall 後藤将之訳
- 1991 シンホリック相互作用論—パースペクティブと方法 勁草書房
- 中央労働基準協会・建設業安全管理研究会 監修 2002 現地KYトレーナー—教育用テキスト 中央労働基準協会
- Cloward, R A 1959, *Illegitimate means, anomie, and deviant behavior*, *American sociological review*, Vol 24, No 2, 164-176
- Coyle, I R, Sleeman, S D, Adams, N 1995, *Safety climate* *Journal of safety research*, Vol 26, No 4, 247-254
- Cox, S J, Cheyne, A J T 2000, *Assessing safety culture in offshore environments*, *Safety science*, Vol 34, No 1-3, 111-129
- Creswell, J W 1998, *Qualitative inquiry and research design Choosing among five traditions* London Sage Publications
- Dalton, M 1959, *Men who manage* Fusions of feeling and theory in administration New York John Wiley & Sons 高橋達男・栗山盛彦訳 1969 伝統的管理論の終焉 産業能率短期大学出版部
- Darrah, C N 1992 *Workplace skills in context*, *Human Organization*, Vol 51, No 3, 264-273
- Darrah, C N 1995 *Workplace training, workplace learning A case study*, *Human Organization*, Vol 54, No 1, 31-41
- 江川義之・中村隆宏・庄司卓郎・深谷潔・鈴木芳美・花安繁郎 1999 コミュニケーション・エラーが原因である労働災害の分類 日本学術会議第29回安全工学シンポジウム講演予稿集 305-308
- Emerson, R M 1981, *Observational field*

- work, *Annual Review of Sociology*, Vol 7, 351-378
- Emerson, R M , Fretz, R I , Shaw, L L 1995, *Writing ethnographic fieldnotes*, Chicago The University of Chicago Press 佐藤郁哉・好井裕明・山田富秋訳 1998 方法としてのフィールドノート—現地取材から物語作成まで 新曜社
- Festinger, L 1957, *A theory of cognitive dissonance*, Evanston Row, Peterson and Company 末永俊郎監訳 1965 認知的不協和の理論—社会心理学序説 誠信書房
- Geertz, C 1973, *The interpretation of cultures Selected essays* New York Basic Books 吉田禎吾・柳川啓一・中牧弘允・板橋作美訳 1987 文化の解釈学 I 岩波書店
- Geertz, C 1983, *Local knowledge Further essays in interpretive anthropology* New York Basic Books 梶原景昭・小泉潤二・山下晋司・山下淑美訳 1999 ローカル・ノレシ—解釈人類学論集 岩波書店
- Giddens, A 1997, *Sociology (Third edition)* Cambridge Polity Press 松尾精文他訳 1998 社会学 (改定第3版) 而立書房
- Glaser, B G , Strauss, A L 1967, *The discovery of grounded theory Strategies for qualitative research* Chicago Aldine Publishing 後藤隆・大出春江・水野節夫訳 1996 データ対話型理論の発見—調査からいかに理論をうみだすか 新曜社
- Glendon, A I , Stanton, N A 2000 *Perspectives on safety culture Safety science*, Vol 34, No 1-3, 193-214
- Glendon, A I , Litherland, D K 2001, *Safety climate factors, group differences and safety behaviour in road construction Safety science*, Vol 39, No 3, 157-188
- Goffman, E 1959, *The presentation of self in everyday life* Garden City, NY Doubleday & Company 石黒毅訳 1974 行為と演技—日常生活における自己呈示 (コフマンの社会学 1) 誠信書房
- Goffman, E 1963, *Stigma Notes on the management of spoiled identity* Englewood Cliffs, NJ Prentice Hall 石黒毅訳 1973 ステイグマの社会学—傷つけられたアイデンティティ せりか書房
- Guldenmund, F W 2000, *The nature of safety culture a review of theory and research Safety science*, Vol 34, No 1-3, 215-257
- Gusfield, J R 1981, *The culture of public problems Drinking-driving and the symbolic order* Chicago The University of Chicago Press 芳賀繁 2000 失敗のメカニズム—忘れ物

- から巨大大事故まで 日本出版サービス  
 林幹人 1989 現代の経済犯罪—その法的  
 規制の研究 弘文堂
- Heimer, C A 1988, Social structure,  
 psychology, and the estimation of risk  
 Annual review of sociology, Vol 14,  
 491-519
- 筆宝康之 1983 建設労務下請機構の合理  
 化問題—「責任施工」と技能・安全・労  
 働費用をめぐる 社会政策学会年報,  
 第 27 集, 91-125
- Hofmann, D A, Jacobs, R, Landy, F  
 1995, High reliability process  
 industries Individual, micro, and  
 macro organizational influences on  
 safety performance Journal of safety  
 research, Vol 26, No 3, 131-149
- 宝月誠編 1999 逸脱—講座社会学 10  
 東京大学出版会
- Holmes, N, Gifford, S M 1997,  
 Narratives of risk in occupational  
 health and safety Why the 'good' boss  
 blames his tradesman and the 'good'  
 tradesman blames his tools Australian  
 and New Zealand journal of public  
 health, Vol 21, No 1, 11-16
- Holmes, N, Gifford, S M, Triggs, T J  
 1998, Meanings of risk control in  
 occupational health and safety among  
 employers and employees Safety  
 Science, Vol 28, No 3, 141-154
- 船津衛 1988 シンホリノク相互作用論  
 新睦人・三沢謙一編 現代アメリカの社  
 会学理論 恒星社厚生閣 pp 177-204
- 船津衛 1999 アメリカ社会学の展開 恒  
 星社厚生閣
- Hurst, N W 1998, Risk assessment The  
 human dimension Cambridge The  
 Royal Society of Chemistry 花井荘輔  
 訳 2000 リスクアセスメント—ヒュー  
 マンエラーはなぜ起こるか、どう防ぐか  
 丸善株式会社
- 井手秀樹 1997 社会的規制の手段 植草  
 益編 社会的規制の経済学 NTT 出版  
 pp 50-79
- 伊江朝章 1999 犯罪的逸脱の理論 学文  
 社
- 井上浩 1991 労働安全衛生法入門 (第 8  
 版) 経営書院
- 石井貴仁 1995 建設現場の労働災害に関  
 する基礎的研究 東京大学大学院工学系  
 研究科修士論文
- 海保博之・加藤隆編 1999 認知研究の技  
 法—シリーズ・心理学の技法 福村出版
- Kelman, H C 1961, Processes of opinion  
 change, Public opinion quarterly, Vol  
 25, No 1, 57-78
- 建設労働災害防止協会 1987 建設業にお  
 ける現場管理者のための統括管理の手引  
 建設労務安全研究会 1996 労研 50 年史  
 建設労務安全研究会
- 建設省大臣官房技術調査室監修 1992 公  
 共工事の発注における工事安全対策要綱  
 解説 全日本建設技術協会

- 木村保茂・松田光一 1992 建設業の労働と労働市場—地下鉄シールド工事における建設労働と教育訓練についての実証的研究 北海道大学教育学部附属産業教育計画研究施設研究報告書第 38 号 北海道大学教育学部附属産業教育計画研究施設
- Kobrin, S 1951, The conflict of values in delinquency areas, American sociological review, Vol 16, No 5, 653-661
- 厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課建設安全対策室監修 2001 建設工事における労働災害の事例と対策(第 3 集) 建設業労働災害防止協会
- 國島正彦・福田昌史 1994 公共工事積算学 山海堂
- 國島正彦・庄子幹雄 1994 建設マネジメント原論 山海堂
- 黒田亘 1992 行為と規範 勁草書房
- Langford, D, Rowlinson, S, Sawacha, E 2000, Safety behaviour and safety management Its influence on the attitudes of workers in the UK construction industry, Engineering, construction and architectural management, Vol 7, No 2, 133-140
- Lee, T, Harrison, K 2000, Assessing safety culture in nuclear power stations, Safety science, Vol 34, No 1-3, 61-97
- MacAvoy, P W 1992, Industry regulation and the performance of the American economy New York W W Norton & Company
- McCall, G J 1984, Systematic field observation, Annual Review of Sociology, Vol 10, 263-282
- McDonald, N, Corrigan, S, Daly, C, Cromie, S 2000, Safety management systems and safety culture in aircraft maintenance organisations, Safety science, Vol 34, No 1-3, 151-176
- 正田亘 1985 産業心理入門(新版)—ヒューマンエラーのメカニズム 総合労働研究所
- Merton, R K 1938, Social structure and anomie, American sociological review, Vol 3, No 5 672-682
- Merton, R K 1957, Social theory and social structure Toward the codification of theory and research (Revised and enlarged edition) Glencoe, Illinois The Free press 森東吾・森好夫・金沢実・中島竜太郎共訳 1961 社会理論と社会構造 みすず書房
- 箕浦康子 1997 文化・教育・国際化 天野郁夫編 教育への問い—現代教育学入門 東京大学出版会 pp 217 245
- 箕浦康子 1999 フィールドワークの技法と実際—マイクロ・エスノグラフィー入門 ミネルヴァ書房
- 三沢謙一 1988 規範的パラダイムと解釈的パラダイム—現代アメリカ社会学のパラダイム革新 新睦人・三沢謙一編 現

- 代アメリカの社会学理論 恒星社厚生閣  
pp 335-355
- 中村絹次郎 1977 建設工事における注文者の責任と請負人の責任 鹿島出版会
- 中村真人 2001 中小企業の労働者—企業社会の周辺部 戸塚秀夫・徳永重良編 現代日本の労働問題（増補版）—新しいパラダイムを求めて ミネルウァ書房 pp 147-190
- 中馬宏之 1999 建設労働の構造と特徴 金本良嗣編 日本の建設産業 日本経済新聞社 pp 161-217
- Neal, A, Griffin, M A, Hart, P M 2000, The impact of organizational climate on safety climate and individual behavior Safety science, Vol 34, No 1-3, 99-109
- 日本発達心理学会監修 2000 心理学・倫理カイトブノクーリサーチと臨床 有斐閣
- 西田心平 2003 寄せ場の臨床社会学—「野宿者問題」の社会的構成と関わって 立命館産業社会論集, 第 38 巻第 4 号, 129-152
- 西澤晃彦 1992 寄せ場のエスノグラフィ—不可視の共同性 金子勇・園部雅久編 都市社会学のフロンティア (3) —変動・居住・計画 pp 119-154
- 小畑史子 2000 労働安全衛生法の課題 日本労働法学会編 健康・安全と家庭生活—講座 21世紀の労働法第7巻 有斐閣 pp 2-18
- O'Dea, A, Flin, R 2001, Site managers and safety leadership in the offshore oil and gas industry, Safety science, Vol 37, No 1, 39-57
- 奥西好夫 1997 労働安全衛生規制 植草益編 社会的規制の経済学 NTT 出版 pp 235-265
- O'Toole, M 2002, The relationship between employees' perceptions of safety and organizational culture, Journal of safety research, Vol 33, No 2, 231-243
- Ouchi, W G, Wilkins, A L 1985, Organizational culture, Annual review of sociology, Vol 11, 457-483
- 大山正・丸山康則編 2001 ヒューマンエラーの心理学—医療・交通 原子力事故はなぜ起こるのか 麗澤大学出版会
- Parsons, T 1951, The social systems New York The Free Press 佐藤勉訳 1974 社会体系論—現代社会学大系第 14 巻 青木書店
- Reason, J 1990, Human error Cambridge Cambridge University Press
- Reason, J 1995, A systems approach to organizational error Ergonomics, Vol 38, No 8, 1708-1721
- Reason, J 1997, Managing the risks of organizational accidents Aldershot Ashgate Publishing
- Reason, J 1998a, Achieving a safe



- culture Theory and practice Work and stress, Vol 12, No 3, 293-306
- Reason, J 1998b, Organizational controls and safety The varieties of rule-related behaviour Journal of occupational and organizational psychology, Vol 71, 289-304
- Reason, J 2000, Human error Models and management Western journal of medicine, Vol 172, No 6, 393-396
- 労働省労働基準局 1996 平成8年労働基準監督年報(第49回) 労働省
- 労働省労働基準局 1997 平成9年労働基準監督年報(第50回) 労働省
- 労働省労働基準局 1998 平成10年労働基準監督年報(第51回) 労働省
- 労働省労働基準局安全衛生部安全課建設安全対策室監修 1999 建設工事における労働災害の事例と対策(第1集) 建設業労働災害防止協会
- 労働省労働基準局安全衛生部安全課建設安全対策室監修 2000 建設工事における労働災害の事例と対策(第2集) 建設業労働災害防止協会
- Ross, H L 1984, Social control through deterrence Drinking and Driving laws Annual review of sociology, Vol 10, 21-35
- 佐伯胖 1986 認知科学の方法—認知科学選書10 東京大学出版会
- 桜井厚 2002 インタビューの社会学—ライフストーリーの聞き方 せりか書房
- Sanjek, R 1990, On ethnographic validity In R Sanjek (Ed), Fieldnotes The making of anthropology Ithaca, NY Cornell University Press, pp 385-418
- 佐藤郁哉 1984 暴走族のエスノグラフィ—モートの叛乱と文化の呪縛 新曜社
- 佐藤郁哉 2002a フィールドワークの技法—問いを育てる、仮説をきたえる 新曜社
- 佐藤郁哉 2002b 労働現場の民族誌—米国におけるフィールドワークを中心にして 日本労働研究雑誌, 500号, 56-70
- 佐崎昭二 1999 90年代の建設労働研究—オイル・ショック以後の労働組合運動の影響 建設総合研究 第48巻第1号 19-47
- 佐崎昭二 2000a 90年代の建設労働研究—戦後の建設安全の構築とその問題点(その一) 建設総合研究 第48巻第3号 25-51
- 佐崎昭二 2000b 90年代の建設労働研究—戦後の建設安全の構築とその問題点(その二) 建設総合研究 第48巻第4号 42-75
- 佐崎昭二 2000c 90年代の建設労働研究—戦後の建設安全の構築とその問題点(その三) 建設総合研究 第49巻第1号 33-48
- 佐崎昭二 2000d 90年代の建設労働研究—戦後の建設安全の構築とその問題点(その四) 建設総合研究 第49巻第2号 43-65

- 佐崎昭二 2003 90年代以後の建設安全の一考察 建設総合研究 第51巻第3・4号 3-22
- 社会的規制研究会編 1996 これからの社会的規制 通商産業調査会
- 下井隆史 1996 労働基準法(第2版) 有斐閣
- 品田充儀 2000 使用者の安全・健康配慮義務 日本労働法学会編 健康・安全と家庭生活—講座 21世紀の労働法第7巻 有斐閣 pp 109-126
- Short, J F 1984, The social fabric at risk Toward the social transformation of risk analysis, American sociological review, Vol 49, No 6, 711-725
- 宋虎斌 2000 建設災害防止における発注者の責任と役割 東京大学大学院工学系研究科修士論文
- Sutherland, E H 1940, White-collar criminality, American sociological review, Vol 5, No 1, 1-12
- Sutherland, E H 1944, Is "white collar crime" crime?, American sociological review, Vol 10, No 2, 132-139
- Sutherland, E H 1949, White collar crime New York The Dryden Press  
平野竜一・井口浩二訳 1955 ホワイト・カラーの犯罪—独占資本と犯罪 岩波書店
- Sutherland, E H, Cressey, D R 1974, Criminology (Ninth edition) Philadelphia J B Lippincott Company
- 高野幸子・所一彦訳 1974 犯罪の原因 (新版) —犯罪学I 有信堂
- Suttles, G D 1976, Urban ethnography Situational and normative accounts, Annual Review of Sociology, Vol 2, 1-18
- 鈴木克 2001 建設現場におけるコミュニケーションエラーに関する考察 Monthly (研究所だより) 147, 2-11
- 鈴木芳美・江川義之・庄司卓郎・臼井信之介 1999 建設工事における墜落災害の背景としての人的要因へのアプローチ 日本学術会議第29回安全工学シンポジウム講演予稿集 301-304
- 鈴木芳美・臼井信之介・江川義之・庄司卓郎 2000 建設作業員の墜落災害防止に対する意識について 土木学会第55回年次学術講演会講演概要集 VI 298-299
- Sykes, G M, Matza, D 1957, Techniques of neutralization A theory of delinquency, American sociological review, Vol 22, No 6, 664-670
- 高木元也 2000 建設現場におけるヒューマンエラーの現状と今後の対策のあり方 建設マネジメント研究論文集 Vol 8 141-148
- 高橋良彰 1999 新犯罪社会心理学 学文社
- 田中基裕 2003 建設工事事故防止のための重点対策について 建設オピニオン 第10巻第7号 8-12
- 谷村富男 1995 ヒューマンエラーの分析

- と防止 日科技連出版社
- 渡邊法美・石井貴仁・常見昌朗・國島正彦  
1995 建設現場の労働災害に関する基礎  
的研究 建設マネジメント研究論文集  
Vol 3 163-172
- Whyte, W F 1993, Street corner society  
(Fourth edition) Chicago The  
University of Chicago Press 奥田道  
大・有里典三訳 2000 ストリート・コ  
ーナー・ソサエティ 有斐閣
- 八代尚宏・伊藤隆一 2000 安全の規制改  
革—検査・検定・公的資格の横断的見直  
しを 八代尚宏編 社会的規制の経済分  
析—シリーズ・現代経済研究 18 日本経  
済新聞社 pp 247-281
- 山口厚 2001 刑法総論 有斐閣
- 横倉尚 1997 社会的規制の対象 植草益  
編 社会的規制の経済学 NTT 出版  
pp 22-49